



ほけんだより 7月号



令和7年7月1日
潮来市立あやめこども園

前期の健診結果を配布しています。治療などが必要なお子さんは早めに受診しましょう。

夏らしくなってきました。熱中症予防に合わせて紫外線対策もしていきましょう。また、湿度が高く保湿ケアがおろそかになりがちですが、夏にしっかり保湿することが、冬の乾燥に負けない肌をつくりま

【歯科健診結果】6月25日に健診結果を配布しました 欠席：2名

出席のお子さんの70%以上が虫歯なし。継続しましょう！

未処置の虫歯 1～3本：5名

4～5本：5名

6本以上：1名

0～1歳児は虫歯0、年齢が上がるにつれて虫歯があるお子さんが増えていきます。特に年中・年長組のお子さんは永久歯に生え変わる時期になり、年長組のお子さんはほぼ全員6歳臼歯(上下の奥歯)が生えています。今後の歯並びにも影響するので、早めに治療をお願いします。

夏のスキンケア、ここをチェック！

① 夏こそ保湿！

肌のバリア機能は3歳ごろにはだいぶ強くなりますが、子どもの皮膚は大人より薄く、敏感です。夏は、さっぱりとしたローションタイプの保湿剤などを使って、よい状態をキープしましょう。



② つめは短く切りましょう

虫刺されなどをかきむしって皮膚を傷つけると、細菌が皮膚に感染してとびひの原因となります。つめは短く切って、角はやすりで丸くしてあげましょう。1週間に一度はつめを見て、こまめに切ってください。



③ 日焼け止め、虫よけは正しく使って

日焼け止めや虫よけは、かぶれないかどうか、少量試してから使ってください。虫よけには、揮発成分を含むものがあるので、日焼け止めに塗ってから虫よけを使うとよいでしょう。ただ、日焼け止めも虫よけも肌には刺激になるので、薄い長そでをはおらせるなど、肌の露出を避ける工夫も大切です。



〈歯みがきの時の約束〉

歯みがき中に口の中やのどにけがをする事故を防ぎましょう。

① 歩かない

歯みがき中の事故で最も多いのが転倒です。歯みがきは座ってしましょう。

② 遊ばない

歯みがき中に他の事をするのはやめましょう。

③ 手を離さない

歯ブラシから手を離さない。口にくわえたまま動くと危険です。



仕上げみがきは やさしく

手の甲に歯ブラシを当ててこすった時、毛先が広がらない程度の力加減でやさしく丁寧にみがいてあげましょう。



あせもや湿疹はないですか？
虫に刺された所が腫れたり、かきむしりやかきこわしはないですか？